

脳卒中での入院治療を受けられた患者さまへ

【入院中の診療データの研究への使用のお願い】

○独立行政法人国立病院機構災害医療センター脳神経外科・神経内科では「脳卒中急性期患者に対する歯科介入の標準化が誤嚥性肺炎予防に及ぼす効果についての多施設共同研究」という臨床登録研究を行っています。急性期脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）の患者にとって口腔内を良い状態に保つことは誤嚥性肺炎を予防するのに重要ですが、そのための歯科介入の方法には適切なマニュアルがありません。この研究は、誤嚥性肺炎予防に最適な歯科介入の方法を検討するために、東京医科歯科大学で新たに作成した口腔機能管理ケアマニュアルに沿った治療を行う歯科介入群と従来の口腔ケア・歯科介入を行う群でデータを比較検討するものです。当院は、従来の口腔ケア・歯科介入を行う施設として研究に参加しますので、入院患者さまには、口腔ケアを含め、通常の（従来の）入院治療と何ら変わるところはありません。

○この研究は当院倫理審査委員会の審査・承認を受けて行われています。

研究期間：倫理委員会承認後～平成31年3月31日まで

○今回の調査研究の対象は、平成30年7月1日から平成31年3月17日までの期間に脳卒中で当院脳神経外科または神経内科に入院された患者さまです。

○通常診療に関わるデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、またデータを使用させていただいた患者さまへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や医学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○以上の方法による「診療記録」の使用について拒否されることは自由意思であり、いつでもそのことを申し出ることができます。

もし、本研究の対象者に該当する可能性のある方で、今回のデータ使用について同意されない場合やご質問については、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

独立行政法人国立病院機構災害医療センター

脳神経外科 医長 住吉 京子

042-526-5511(代) 平日 8:30-12:30、13:30-16:00